



台湾現地販売PR活動

コミュニティ部門

山梨県笛吹市

山梨県立笛吹高校

果樹園芸科



輸出ブドウ収穫調整

たった1年で売り上げ3倍 高校生GAPの可能性

概要

- GAP取得から輸出までを行うことにより生徒への興味関心を喚起。安心安全な食の生産体制をデータ化し、これからの農業の方向性の一例を示しながら、地域の活性化や若者の農業従事者の増加を目指した。

該当カテゴリ

学生・若者の活躍

食育・教育

輸出



東京農業大学
GAPシンポジウム
での発表風景

成果

- 関東農政局よりGAP取得の案内を受け、今後の農業教育では避けて通れないとの学科内の共通認識から、6品目で認証を受けた。地元紙で山梨県の公共機関初のJGAP認証として報じられ、GAP認証の先駆けとして各農業機関に効果をもたらした。更にAGAP取得を目指し、授業で生徒が資料整理に取り組み興味関心を強く持つ生徒“スーパーGAPチーム”と職員で審査を受け、令和2年9月に認証を受けた。
- GAPによる生産活動と並行して輸出販売PR活動に向けてブドウ生産を行い、JAふえふき指導課から栽培技術を教授いただき、JAを経由し「シャインマスカット」を台湾へ輸出し、台北のスーパーにて生徒が販売PR活動を実施した。一年以内に生産から輸出、現地での販売へとなり地域へ活力を与えた。
- 現地消費者からアンケートを実施することができ、GAP認証の必要性が証明できた。その後、地元紙に活動を報道され、以後の生徒募集の一助となった。



関東農政局山梨県拠点
地方参事官より選定証授与



JA指導課よりシャイン
マスカット摘粒指導